

## 電波時計 取扱説明書 (報時付掛時計)

### ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 毎正時にメロディを奏でながら文字盤や歯車が回転します
- 暗くなると報時が自動停止します

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

### 製造販売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

#### ●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間で基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

#### ●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

#### ●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.

Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1401)

## おもな製品仕様

使用温度範囲	−10～50℃ *結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 時分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒(温度が5～35℃のときのクォーツ精度)
報時精度	表示時刻に対して±1秒
使用電池	単1形アルカリ乾電池 JIS規格 LR20 1.5V 2個
電池寿命	約1年 標準電波の受信に成功し、報時を音量中で1日に17回行ったとき
報時機能	毎正時に曲を奏で、LED が点滅しながら文字盤、歯車が回転する
ON/OFF	スイッチ切り替え
自動鳴り止め	明暗センサーと連動して暗所停止
収録曲数	電子音メロディ 30曲を3つのグループに分けて収録
音量調節	ロータリー式ボリューム
モニター	メロディの試聴、からくりパフォーマンス
電池交換時期	電池ランプ(赤色LED)点滅
お知らせ機能	
回転飾り	一方向に回転 *装飾用
温度	測定範囲は表示目盛範囲
温度精度	±3℃ 温度が5～35℃のとき
湿度	測定範囲は表示目盛範囲
湿度精度	±12%RH 温度が5～35℃のとき *%RHは相対湿度を意味しています
防水・防塵機能	なし
電波受信機能	標準電波受信による時刻修正
受信局	福島局/九州局 自動選択
受信回数	最少1日1回、最多1日6回 *受信状態により変化
受信ON/OFF	スライドスイッチ
受信開始時刻	2時、3時、4時、12時、3時、14時 の16分20秒 *2時16分20秒は必ず行う

- 製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 電池 2個 木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

## お問い合わせ先

(フリーダイヤル)  
**お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してある製品番号(型番)をお伝えください。例 4MN○○○

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。  
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

**図記号の説明** ㊚は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

㊚は、指示する行為を必ずすることを示しています。

### 警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



必ず守る

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



禁止

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。



電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

### 注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容



必ず守る

電池の⊕⊖を正しく入れる  
液漏れや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。



禁止

強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。



禁止

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない  
故障や誤作動の原因になります。



禁止

ぬれた手で触らない  
故障や誤作動の原因になります。



禁止

分解や改造をしない  
けがや故障の原因になります。



禁止

下記のような場所では使わない  
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が−10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

## 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(−)を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない所に置く。

### 電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

### 電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていただきますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

## 電波時計について

### 電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

### 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。電波受信スイッチをOFFにして、手動で時刻を合わせてご使用ください。

## このようなときには

- 電波受信スイッチをONにして、強制受信を押しても受信表示ランプが点灯しない。  
正常に戻すには、次の操作をしてください。  
**時刻合わせ**を押したまま、**強制受信**を押してすぐ離し、**時刻合わせ**を離します。その後に、必ず**強制受信**を押してください。電池切れの場合は、新しい電池に交換してください。
- 文字盤の動きや針が正常に動かない。メロディが正常に鳴らない。  
静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。**強制受信**を押してください。

## 電池・時計の廃棄

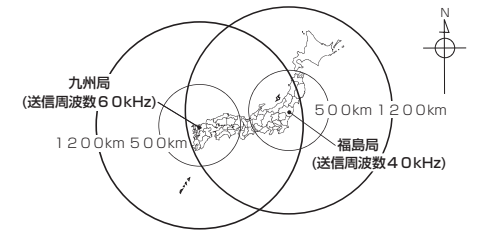
- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

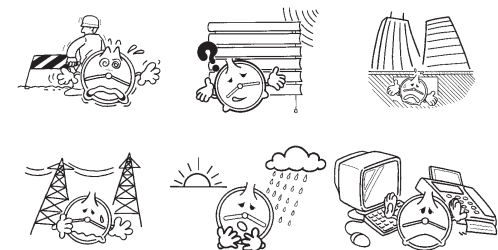


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

## 電波を受信しにくい環境

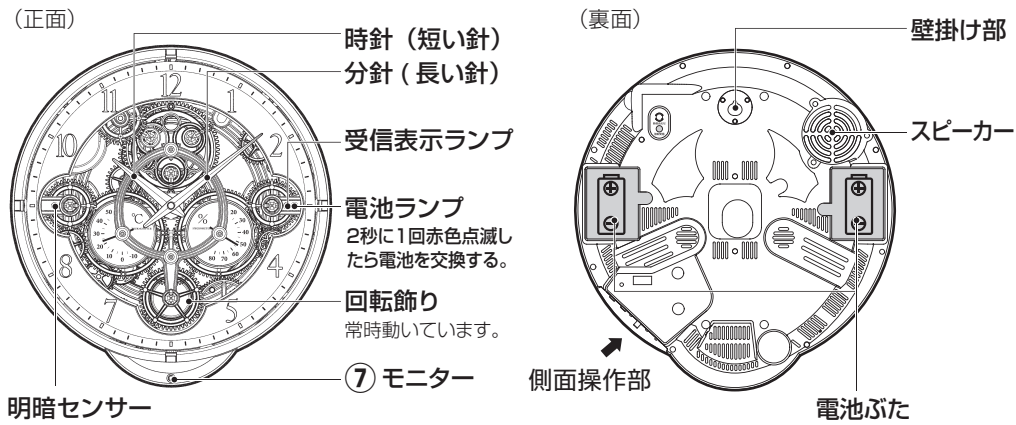
次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



## 各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



明暗センサー  
装飾用のランプは4ヵ所に配置。メロディとともに点滅します。

針の動き……通常の時刻表示

時計針・分針:10秒に1回動きます。

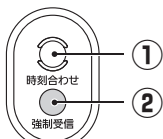
※自動受信により、時刻を修正するときは早送りで移動したり、停止することがあります。

### 電池を入れる

電池ぶたを引っ張って、取り外し、単1形アルカリ乾電池を2個入れて、電池ぶたを押し込んで取り付ける。



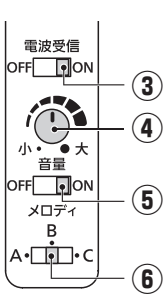
(裏面操作部)



① 時刻合わせ 手動で時刻を合わせるときに使用します。  
不用意に押すと時刻が変わります。

② 強制受信 電池を入れた直後に押します。  
装飾用のランプが点滅します。

(側面操作部)



③ 電波受信 ON:標準電波を受信 OFF:標準電波を受信しない

④ 音量 メロディの音量調節を行います。  
🔊:小さくなる 🔊:大きくなる

⑤ メロディ 報時機能のON/OFF切り替え。

⑥ 選曲 メロディのグループA、B、Cから1つを選択します。

⑦ モニター 押すとメロディを奏で、装飾用ランプが点滅しながら文字盤、歯車が回転します。1曲奏でると終わります。  
メロディを奏でているときに押すと曲が変わります。

## 報時機能について

メロディスイッチがONのときは、毎正時たとえば10時ちょうどにオープニング曲が流れ、ランプが点滅して文字盤、歯車が動き出します。その後メロディが流れます。メロディが終わるとエンディング曲が流れ、文字盤が元の位置に戻ります。

※歯車の一部は回転しません。

○メロディは選曲スイッチで3つのグループから1つを選曲してください。

○モニターを押すとメロディが鳴りますので、音量を調節してください。メロディが鳴っているときに再度モニターを押すと、曲が変わります。

○報時するたびに曲順が1つ進みます。曲目は時計裏面に表示してあります。

○曲順を変えたり、時刻ごとにメロディを設定することはできません。

## 明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合は、受信表示ランプが消灯し、報時を停止します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

## 標準電波を受信できない場合

### ●朝までそのまましておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

### ●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信を押して再度受信を行ってください。

### ●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

## 手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

手動で時刻を合わせるときは、通常の針の動きのときに操作してください。時刻合わせを押していないのに針が早送りしているときは、通常の動きになるまで待ってください。

操作 ○時刻合わせを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせを押し続けると早送りで動きます。

秒は、時刻合わせを離すとゼロ秒からスタートします。

※電波受信スイッチがONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

## 電波受信機能のON/OFF切り替え操作

ノイズなどにより誤受信しやすいところや、意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波受信スイッチをOFFにすると電波を受信しません。

※受信に成功した状態でOFFにすると、受信表示ランプが最長で24時間点滅することがあります。

※OFFのときに電池を入れたり、強制受信を押すとONのときと同様に、12、4、8時のいずれかに最長で16分程度停止後、時刻表示に戻ります。針が停止しているときに時刻合わせを押すと、早送りで時刻位置に移動して、時を刻み始めます。必要に応じて手動で時刻を合わせてください。

## 電池の交換時期お知らせ機能……電池ランプが点滅

電池の交換時期になると、電池ランプが2秒に1回赤く点滅します。電池ランプが点滅したら速やかに新品の電池にすべて交換してください。

電池ランプが点滅した状態で放置すると、報時や標準電波の受信を行くなくなります。また、誤作動の原因になります。電池の電圧がさらに低下すると電池ランプも点滅しなくなります。

## 注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをご守りください。

●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

●時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。

●古い電池と新しい電池、異なった種類の電池を混ぜて使用しない。



## 使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、(手動での時刻合わせ)を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

① 操作中にメロディが大きな音で鳴らないように音量を最小にする

② 電波受信スイッチをONにする

③ 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単1形アルカリ乾電池を入れる

④ 強制受信を押す (標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた) 参照

受信表示ランプが点灯し、受信を開始します。また、針が早送り、4時、8時、12時のいずれかの時刻に移動して、受信が終わるまで停止します。

※電池を入れた後は必ず強制受信を押してください。

※早送りの途中で針が一時停止することがあります。

※受信中はボタン操作をしないでください。

⑤ (時計の掛けかた) に従って時計を確実に掛ける

⑥ 受信開始から16分程度経過したら受信結果を確認する

受信表示ランプが2秒に1回点灯していれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信する所を探るか、(標準電波を受信できない場合)を参照してください。

※電池を入れたときや強制受信を押したとき、装飾ランプが点滅します。また文字盤の位置合わせのため回転することがあります。

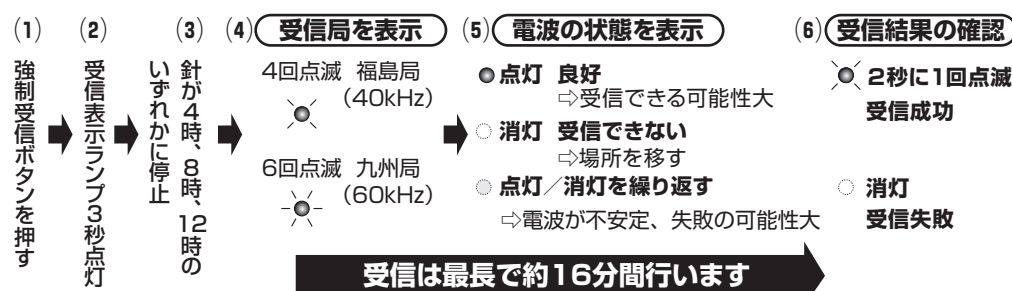
■報時機能を設定してお使いください。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信を押してください。

※受信表示ランプは、24~25時間以内の受信結果を表示します。

## 標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能の使いかた……受信しやすい所を探すには

①窓際やベランダで(5)まで行い、受信表示ランプが点灯していることを確認します。受信表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。

②時計を掛けたい所に移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。

※受信できないときは、同じ部屋の中でも電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

## 時計の掛けかた

注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

## 木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

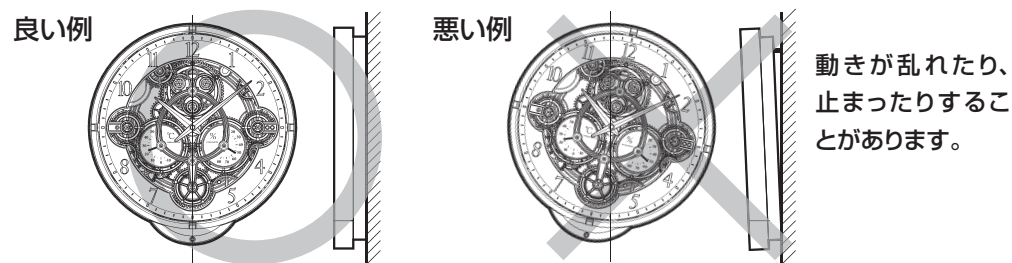
●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



## その他の壁面の場合

●石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

## 時計を垂直に掛けてください



## 温度と湿度表示

周囲の温度、湿度を表示に反映するまでには時間がかかります。

設置場所について

本製品は室内用です。

●直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

●屋外、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中などでは使用しないでください。

●時計を掛ける高さによっても、温度・湿度が変わります。

湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しの良い所と悪い所では違いがでます。

※本製品は厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。また、温度・湿度の証明や商取引に使用できません。